

○Web サイトにオプトアウトする書式

「 悪性との鑑別を要した良性ブレンナー腫瘍の MRI と病理像の比較検討 」

○研究の概要

卵巣腫瘍は腹腔内臓器であることから手術前に確定診断を得ることは困難です。このため、卵巣腫瘍の術前画像診断は治療方針を決定する最重要因子の一つとなっています。本研究では、卵巣のブレンナー腫瘍という稀な腫瘍が、手術前の MRI 検査で多彩な見え方を示すことから、見え方の違いが何を表しているのかを手術で摘出した卵巣や過去に採取した採血検査結果と照らし合わせることで解明することを目指します。

○研究の目的と方法

目的：卵巣の良性ブレンナー腫瘍において、手術前の MRI 検査で悪性腫瘍の可能性が考えられたものとそうでないものの違いを、摘出した手術検体を用いて解明する。

方法：対象は、当施設で 2006 年 1 月から 2024 年 12 月までに加療し、最終診断が卵巣の良性ブレンナー腫瘍であった患者様です。手術前に行われた MRI 結果を「均一型 (典型的な良性ブレンナー腫瘍の MRI 所見)」と「混在型 (悪性腫瘍に類似した MRI 所見)」に二分し、MRI 所見と病理学的所見、CT での石灰化の有無、血中エストラジオール値、腫瘍マーカー (CA125, CA19-9, CEA) など、手術前に行われた各種検査結果を比較検討します。

○本研究の参加について

本研究は患者様に追加での検査などを行うものではなく、検査結果が患者様の今後の方針に関わることもありません。研究結果に個人情報が含まれることもありませんので、患者様へ悪影響が及ぶことはないと考えられます。本研究の対象となる患者様で、研究への参加を辞退する希望があられる方は、下記連絡先までご連絡ください。

○調査する内容

すでに手術が終了された患者様の、手術前に行われた MRI、CT、採血検査、手術で摘出された組織の結果を用いて研究が行われます。

○実施期間

研究対象期間：2006年1月1日～2024年12月31日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～2026年3月31日まで

○研究成果の発表

国内および海外の医学学会にて発表、論文発表を行います。

○研究代表者

産婦人科 瀬尾 優太郎

○当院における研究責任者

産婦人科 瀬尾 優太郎

○問い合わせ先

瀬尾 優太郎

連絡先

国立病院機構熊本医療センター

電話：096-353-6501